

プログラム

第1会場（スノーホール A）

09:20-10:50 シンポジウム 1：オンライン診療・オンライン診療分科会

「オンライン診療の日常診療への適応とメディカルネットワークの構築」

座長：黒木 春郎（こどもとおとなのクリニック パウルーム）

野村 和至（野村医院）

S1-1 オンライン診療がもたらす新たな高齢者医療-オンライン高齢者総合評価を通して

野村 和至（野村医院）

S1-2 オンライン診療と IT 機器を活用した多職種連携ネットワーク構築

土屋 淳郎（土屋医院）

S1-3 オンライン診療による小児科診療-特に小児救急に関して

久我 修二（大分こども病院）

S1-4 離島僻地で活用するオンライン診療

小泉 圭吾（神島診療所）

11:00-12:00 学会会長講演

座長：児玉 直樹（新潟医療福祉大学 診療放射線学科／運動機能医科学研究所）

日本の医療 DX の遅れとサイバーセキュリティの遅れは同源です。

—現状と対策について、見える化から統合です。—

近藤 博史（協立記念病院）

12:10-13:00 ランチョンセミナー 1 共催：ウィーメックス株式会社

座長：原田 昌範（山口県立総合医療センター へき地医療支援部／山口県防府保健所）

日本のへき地医療のこれから

～海外の遠隔医療の好事例から学ぶ～

Ivar Mendez（University of Saskatchewan and Saskatchewan Health Authority

／The Virtual Care and Remote Presence Robotics Program）

13:10-13:40 大会長講演

座長：橋本 薫（新潟医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線学科）

超高齢社会に求められるヘルスケア ～画像領域を中心に～

児玉 直樹（新潟医療福祉大学 診療放射線学科／運動機能医科学研究所）

13:50-15:20 分科会 2：オンライン服薬指導分科会

「オンライン服薬指導の現状と普及に向けた課題」

座長：狭間 研至（ファルメディコ株式会社）

鈴木 亮二（高崎健康福祉大学）

SC2-1 大企業 x スタートアップによる新しい薬局事業への挑戦

田口 健太（KDDI 株式会社）

SC2-2 中小薬局におけるオンライン服薬指導の現状と展望

狭間 研至（ファルメディコ株式会社）

SC2-3 日本におけるオンライン服薬指導の現状と課題

下地 一嘉（日本調剤株式会社）

SC2-4 在宅医療現場でのオンライン服薬指導の現状と展望

原 敦子（HYUGA PRIMARY CARE 株式会社）

15:30-16:30 一般演題 1

「遠隔診療支援技術」

座長：鈴木 亮二（高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科）

富田 康弘（虎の門病院）

O-1-1 小児科オンライン診療の有用性

村田 健介（キッズドクター）

O-1-2 過疎地域病院に対する専門医による 5G 遠隔診療支援

～実証から実装へ～

影治 照喜（徳島県立海部病院）

O-1-3 循環器外来でのリアルタイム心電計を活用したオンライン診療フォローアップが心電図モニタリング時間、患者満足度に与える影響

高見 充（神戸大学大学院医学研究科 循環器内科学分野）

O-1-4 行動変容アプリケーションを活用した遠隔特定保健指導の実施結果と行動変容効果の報告

菅原 陽子（東京大学大学院工学系研究科）

O-1-5 薬局におけるオンライン診療サポートと実践

吉田 聡（なごみの薬局 なくすりーな日の出）

O-1-6 対面・遠隔・セルフトレーニングを併用した嚥下訓練—健常高齢男性に対する前舌保持嚥下法—

大森 史隆（福岡歯科大学医科歯科総合病院）

16:40-18:10 シンポジウム 2：へき地遠隔医療分科会

「離島へき地における遠隔医療のこれから

～地域包括ケアを推進するために遠隔医療をどう組み合わせるのか～」

座長：原田 昌範（山口県立総合医療センター）

S2-1 医療行政の立場から

矢野 好輝（厚生労働省 医政局 総務課）

S2-2 在宅医療の立場から

杉山 賢明（一般社団法人みんなの健康らぼ）

S2-3 看護師の立場から

佐々木 彩加（自治医科大学看護学部）

第2会場（スノーホール B）

09:20-10:50 分科会 1：睡眠遠隔医療分科会

「これからの CPAP オンライン診療を考える」

座長：千葉 伸太郎（太田睡眠科学センター）

吉嶺 裕之（社会医療法人春回会 井上病院）

SC1-1 大学病院における CPAP オンライン診療の取り組み

神津 悠（日本大学医学部附属板橋病院）

SC1-2 スリープクリニックにおける睡眠遠隔診療の実践と今後の展望

白濱 龍太郎（RESM 新横浜 睡眠・呼吸メディカルケアクリニック）

SC1-3 CPAP のオンライン診療における対面診療間隔の提案

富田 康弘（虎の門病院）

SC1-4 コロナ禍におけるオンライン診療の活用と課題

吉嶺 裕之（社会医療法人春回会 井上病院）

13:50-15:20 分科会 3：腫瘍内科遠隔医療分科会

「本邦における Teleoncology の可能性

～医師・薬剤師・看護師の立場からディスカッション～」

座長：砂川 優（聖マリアンナ医科大学臨床腫瘍学講座）

SC3-1 遠隔治療の経験から考えるがん診療における遠隔医療

谷口 浩也（愛知県がんセンター薬物療法部）

SC3-2 訪問化学療法の実践から考える遠隔医療の可能性

鶴田 展大（鶴田クリニック）

SC3-3 分散型臨床試験（DCT）における訪問看護師（ナーシング）から見た課題及びその解決について

永久 祥大（株式会社 DCT Japan）

SC3-4 本邦における遠隔診療の現況と DCT がもたらす医療機関への価値

松永 拓真（株式会社 MICIN）

15:30-16:10 一般演題 2

「情報通信技術 I」

座長：野村 章洋（金沢大学）

米澤 麻子（株式会社 NTT データ経営研究所）

O-2-1 振動スピーカを用いた電子聴診器の特性測定と指標

恩田 正幸（前橋工科大学）

O-2-2 ドローンによる医薬品配送の実証実験について

蒸野 寿紀（和歌山県立医科大学地域医療支援センター）

O-2-3 重粒子線治療オンラインセカンドオピニオン：治療選択を支える新たな取り組み

大西 真弘（群馬大学重粒子線医学研究センター）

O-2-4 中核病院におけるオンライン診療の導入の課題について

松田 正幸（千葉大学医学部附属病院 患者支援部）

16:40-18:10 分科会 5：遠隔 ICU 分科会

「急性期における遠隔医療の取り組みと評価方法の確立」

座長：高木 俊介（公立大学法人横浜市立大学附属病院）

長谷川 高志（特定非営利活動法人日本遠隔医療協会）

SC5-1 医療法人徳洲会における遠隔麻酔支援の取り組み

野村 岳志（医療法人徳洲会 周術期医療地域支援室）

SC5-2 遠隔 ICU における看護師のリモートスクリーニングの実践と医療の標準化を目指して

加藤 耕平（公立大学法人横浜市立大学附属病院）

SC5-3 Tele ICU 導入前の ICU 看護師の働き方満足度に関する調査

川名 由貴（東京女子医科大学医学研究科）

SC5-4 遠隔 ICU の海外展開における長所と課題

鴻池 善彦（株式会社 Vitaars）

第3会場（中会議室 201）

13:50-15:20 分科会 4：周産期医療分科会

「周産期遠隔医療と地域連携による取り組み」

座長：小笠原 敏浩（岩手県立二戸病院）

SC4-1 ICT 技術を活用した Shared maternal care 拡充の取り組み

～産科医と家庭医の妊婦健診連携の可能性について～

末光 徳匡（医療法人鉄蕉会亀田総合病院）

SC4-2 小型モバイル CTG による母体搬送時リアルタイムモニタリングの有用性に関する検討

田丸 俊輔（埼玉医科大学）

SC4-3 地域の周産期遠隔医療システムを国際モデル MAST で評価する

～千葉大学遠隔医療マネジメントプログラム演習・多職種ディスカッションを通じて～

黒田 敬史（北海道社会事業協会小樽病院）

SC4-4 IoT ツールを駆使した離島の周産期医療

～医療スタッフ間のメンタルモデル共有のために～

島田 幸樹子（名瀬徳州会病院）

SC4-5 PHR アプリを用いた医療機関間診療情報連携と健康増進に関わる行動変容の試み

鈴木 真（社会医療法人友愛会）

15:30-16:10 一般演題 3

「医療者教育」

座長：森山 智彦（九州大学病院 国際医療部アジア遠隔医療開発センター）

東福寺 幾夫（高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科）

O-3-1 Meta Workrooms を用いた低侵襲手術に関するオンライン症例検討会の評価

上田 真太郎（九州大学病院 国際医療部）

O-3-2 全地球カメラとヘッドマウントディスプレイを用いたリアルタイム内視鏡ライブ配信の評価

富松 俊太（九州大学病院）

O-3-3 がん患者および医療者を対象とした腫瘍内科領域における遠隔医療に関する意識調査

砂川 優（聖マリアンナ医科大学臨床腫瘍学講座）

O-3-4 急性腹症の CT 診断の e-learning コンテンツの構築

郡 隆之（利根中央病院 外科）

O-3-5 全地球カメラを用いた内視鏡デモンストラーションの可能性

久田 由紀子（九州大学病院国際医療部）

16:40-18:10 分科会 6：デジタル療法分科会

「治療アプリの国境を超えた展開」

座長：野村 章洋（金沢大学附属病院）

SC6-1 製薬会社が開発する Digital Therapeutics とその課題

神田 直幸（アステラス製薬株式会社）

SC6-2 デジタルセラピューティックスへの期待と課題

塩野義製薬と JaDHA の取り組み

阪口 岳（塩野義製薬株式会社）

SC6-3 治療アプリの海外展開：日本からの視点

高木 雄亮（株式会社 CureApp）

第1会場（スノーホールA）

08:50-10:50 シンポジウム3：サイバーセキュリティ・遠隔医療基盤検討分科会

「医療機関のサイバーセキュリティに関する展望

—厚生労働行政推進調査事業による病院サイバーセキュリティ調査研究—

座長：近藤 博史（協立記念病院・特定非営利活動法人日本遠隔医療協会）

長谷川 高志（特定非営利活動法人日本遠隔医療協会）

S3-1 医療機関のサイバーセキュリティに関する展望

—厚生労働行政推進調査事業による病院サイバーセキュリティ調査研究—

近藤 博史（協立記念病院／特定非営利活動法人日本遠隔医療協会）

S3-2 調査を担当した経験（1）

関原 弘樹（株式会社インフォメーション・ディベロプメント）

S3-3 調査を担当した経験（2）

松村 亮一（株式会社 SHIFT）

S3-4 調査を担当した経験（3）

川上 正春（BEX Consulting 株式会社）

S3-5 調査を担当した経験（4）

高橋 道也（株式会社ヘルスブリッジ）

S3-6 調査を担当した経験（5）

福重 秀文（ステラジャパン株式会社）

S3-7 調査を担当した経験（6）

落合 一則（セコム山陰株式会社）

S3-8 調査をスーパーバイジングした経験

西村 元宏（セコム山陰株式会社）

S3-9 調査方式の構築経験と今後の展開の可能性

長谷川 高志（特定非営利活動法人日本遠隔医療協会）

指定発言

岡本 潤（厚生労働省 医政局

／特定医薬品開発支援・医療情報担当参事官室）

11:00-11:50 一般演題 4

「在宅医療」

座長：大山 太（東海大学医学部看護学科）

真原 仁（千葉大学医学部附属病院）

O-4-1 オンラインフォローアップが気管支喘息患者の吸入手技向上及びアドヒアランス維持に繋がった症例

福井 彩保（日本調剤 川越薬局）

O-4-2 視能訓練士による眼科往診とオンライン診療を組み合わせ、眼瞼炎を治療した一例

西村 裕樹（横浜けいあい眼科）

O-4-3 患者付添人によるバイタルサインデータ測定を利用した在宅輸血の安全な遠隔見守りの検証

西川 彰則（和歌山県立医科大学附属病院）

O-4-4 誤嚥性肺炎の予防のための対介護職の電話診察とサルコペニアの定量化

木村 眞一（医療法人ユリス会 きむら訪問クリニック）

O-4-5 遠隔分娩監視装置を活用し、切迫早産の双胎妊婦を在宅管理しえた1例

安田 幸矢（亀田総合病院産婦人科）

12:10-13:00 ランチョンセミナー2 共催：アライドテレシス株式会社

医療ガイドライン第6.0版に基づく、リモート接続 バックアップ環境の整備のポイント

福田 香奈絵（アライドテレシス株式会社）

由留部 浩章（アライドテレシス株式会社）

13:10-14:00 教育講演 1

座長：児玉 直樹（新潟医療福祉大学 診療放射線学科／運動機能医科学研究所）

医療関連プログラムと法規制

古川 浩（一般社団法人日本画像医療システム工業会）

14:10-15:00 一般演題 6

「施設間連携・支援」

座長：高木 俊介（公立大学法人横浜市立大学）

児玉 直樹（新潟医療福祉大学 診療放射線学科／運動機能医科学研究所）

O-6-1 ローカル5Gとキャリア5G回線を用いた高精細映像伝送による救急搬送支援システムの実証実験

影治 照喜（徳島県立海部病院）

O-6-2 てんかん PHR と連動した遠隔診療ツール nana-medi を用いた離島とのオンライン診療の経験

岡崎 伸（大阪市立総合医療センター）

O-6-3 希少疾患診療における ICT 活用と新しい多職種・地域連携体制の構築

土川 貴裕（北海道大学病院 神経内分泌腫瘍センター）

O-6-4 岩手県の小児難聴分野におけるオンライン多職種連携

菅野 智子（岩手医科大学附属病院耳鼻咽喉科）

O-6-5 地域医療機関で診療に難渋する症例に対する医師間オンラインコンサルテーションシステムの構築

叶川 直哉（千葉大学医学部附属病院）

15:10-15:50 一般演題 9

「情報通信技術Ⅱ」

座長：芦原 貴司（滋賀医科大学）

尾形 優子（メロディー・インターナショナル株式会社）

O-9-1 遠隔医療評価モデル MAST を活用して当該地域の周産期遠隔医療システムを評価する

黒田 敬史（北海道社会事業協会小樽病院）

O-9-2 遠隔教育における画面隠蔽問題への対応

：DeepSORT を用いたオクルージョン対応型物体追跡モデルの開発と評価

西本 騰（立命館大学 情報理工学研究科）

O-9-3 支援内容に合わせて複数のライブ動画を接続できる「双方向高画質同時共有システム」の事例報告

佐々木 春光（ボーダレス・ビジョン株式会社）

O-9-4 僻地・過疎地区の公立診療所における D to P with N 遠隔診療の社会実装について

高尾 理雄（凸版印刷株式会社）

16:00-16:30 一般演題 10

「服薬指導」

座長：本間 聡起（独立行政法人 地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター）

森田 浩之（岐阜大学）

O-10-1 小笠原村母島診療所からの院外処方箋の物流と服薬指導における課題

浅沼 晋（マルハチメディカル合同会社）

O-10-2 服薬支援装置と電子お薬手帳のデータ連携の試み

鈴木 亮二（高崎健康福祉大学）

O-10-3 オンライン服薬指導・オンライン診療に関する意識調査と処方傾向について

平川 桃子（日本調剤ふれあいの丘薬局）

第2会場（スノーホールB）

08:50-10:20 シンポジウム4：遠隔音楽療法

「ICT 技術を用いた音楽療法研究の最前線：AI 音楽療法士の研究開発」

座長：児玉 直樹（新潟医療福祉大学 診療放射線学科／運動機能医科学研究所）

S4-1 ICT 技術で広がる音楽療法アプローチ

相川 直子（NAT 音楽療法事務所）

S4-2 After 遠隔音楽療法

小杉 尚子（専修大学）

S4-3 AI 音楽療法士の開発環境とシステム構成

石井 健太郎（専修大学ネットワーク情報学部）

10:30-12:00 シンポジウム5：画像診断と AI

「医療用 AI の研究と社会実装の現状」

座長：笠井 聡（新潟医療福祉大学）

甲斐 千遥（新潟医療福祉大学）

S5-1 演題タイトル：画像診断 AI の開発におけるデータセット構築コスト削減の取り組み

近藤 敏志（室蘭工業大学）

S5-2 デジタルセラピューティクス（DTx）の動向と遠隔医療における利活用について

小林 亮太（株式会社 Save Medical）

S5-3 MiiS のポータブルデジタル診断機器の遠隔医療における応用

陳 錦怡（Medimaging Integrated Solution, Inc.）

S5-4 遠隔医療における新オプション

「胸部 X 線の骨解析 AI を活用した、骨粗鬆症リスク評価」

佐藤 洋一（iSurgery 株式会社）

13:10-14:00 教育講演 2

座長：菊地 克彦（東京北医療センター）

遠隔画像診断を取り巻く環境

岡野 員人（国際医療福祉大学）

14:10-14:40 一般演題 7

「画像・病理診断」

座長：松本 浩樹（前橋工科大学）

山田 裕揮（株式会社 Medii）

O-7-1 病院と病院が連携する遠隔画像診断を実施してからモダリティ共同利用施設数に関する調査

嗣江 建栄（ViewSend ICT 株式会社）

O-7-2 テレビ会議システムからの医療機器データ取り込みに関する研究

安德 恭彰（大分大学）

O-7-3 群馬県でのモバイル型分娩監視装置の導入事例

鈴木 陽介（利根中央病院）

15:10-16:40 分科会 8：テレナーシング分科会

「テレナーシングが拓く、様々な対象の在宅療養の実現」

座長：森山 美知子（広島大学大学院医系科学研究科成人看護開発学）

加澤 佳奈（岡山大学学術研究院保健学域看護学分野）

SC8-1 進行がん患者の症状マネジメントを支えるテレナーシング

ーがん疼痛をもつ患者に焦点を当ててー

吉田 詩織（東北大学大学院医学系研究科がん看護学分野）

SC8-1 長期化する感染症対策の中で、持続可能なテレナーシングを考える

眞榮 和紘（ソフィアメディ株式会社）

SC8-1 心不全患者の在宅療養を見守るテレナーシング-IoT を用いた多職種連携-

富山 美由紀（医療法人社団ゆみの のぞみハートクリニック）

SC8-1 テレナーシングを活用した生活習慣病重症化予防のための保健指導

吉田 薫里（株式会社 DPP ヘルスパートナーズ）

第3会場（中会議室 201）

08:50-10:20

分科会 7：歯科遠隔医療分科会

「歯科遠隔医療最前線」

座長：長縄 拓哉（ムツー株式会社）

SC7-1 歯科遠隔医療の現在

長縄 拓哉（ムツー株式会社）

SC7-2 歯科遠隔医療と看護教育 オンラインでの看護師研修を通して見えてきた課題

高丸 慶（訪問看護支援協会）

SC7-3 歯科遠隔医療最前線

野田 真一（歯科デジタルリモート支援協会）

SC7-4 歯科遠隔医療と姿勢・歩行

木村 佳晶（歯科デジタルリモート支援協会）

11:00-11:40 一般演題 5

「遠隔モニタリング」

座長：佐竹 晃太（日本赤十字社医療センター/株式会社 CureApp）

竹内 公一（千葉大学医学部附属病院）

O-5-1 仮想避難所における同時多数人の活動量モニタリングの feasibility study

和田 彩子（慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室）

O-5-2 マット型非接触センサーを用いて測定した脈拍数の妥当性の検証

霜島 大希（国立長寿医療研究センター 健康長寿支援ロボットセンター
健康長寿テクノロジー応用研究室）

O-5-3 多種の自己測定機器による疾病管理用テレモニタリング・システムの導入事例に関する報告

本間 聡起（独立行政法人 地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター）

O-5-4 920MHz 帯無線を利用した人工呼吸器装着患者の医療機器遠隔アラームモニタリングシステムの開発

吉川 健太郎（信州大学医学部小児医学教室）

14:10-14:50 一般演題 8

「制度・社会保障」

座長：大西 丈二（国立長寿医療研究センター）

郡 隆之（利根中央病院）

O-8-1 東京都島しょ部・山間部地域に於けるデジタル技術によるへき地医療のニーズ調査のための調査手法開発

長谷川 高志（特定非営利活動法人日本遠隔医療協会）

O-8-2 遠隔医療基盤としての法規と制度の検討の必要性

東福寺 幾夫（高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科）

O-8-3 内保連の遠隔医療の提案事項、要件明確化ガイド活用の重要性

長谷川 高志（特定非営利活動法人日本遠隔医療協会）

**O-8-4 医療研究に必要な情報を患者のコントロールにより提供するための仕組み構築と
ELSI 検討の必要性**

真原 仁（千葉大学医学部附属病院）

15:10-16:40 分科会 9：DtoD 遠隔専門医相談システム分科会

「DtoD 遠隔専門医相談の現状、課題と未来」

座長：山田 裕揮（株式会社 Medii）

SC9-1 DtoD 遠隔専門医相談の概要と早期診断/治療最適化における可能性

山田 裕揮（株式会社 Medii）

**SC9-2 地域医療機関と大学病院を繋ぐ：医師-医師間オンラインコンサルテーション
システム構築の試み**

小笠原 定久（千葉大学大学院医学研究院・医学部 消化器内科学）

SC9-3 遠隔診療の現状と今後の展望

島田 将広（厚生労働省 医政局医事課）